

## 編集後記

2013年4月号以来の「災害対応、災害復旧・復興」特集号です。

前は東日本大震災から2年が経過していましたが、震災関連の話が多く見られました。今回はさらに2年が経過しましたが、まだまだ、震災の話題は続きます。いまだに復旧していないインフラが多く残っており、ゴールは遠いという印象です。

さて、一口に「災害」といいますが、災害には天災と人災があります。自然現象に起因する自然災害を天災、人為的な原因によるものを事故と呼びますが、事故の中でも被害が大きいものを災害に含めて人災と呼ぶことがあります。

天災の中には、被害の直接的な原因が自然現象であっても、人為的な要因によって被害が拡大する場合があります。天災と人災の線引きは明確ではありません。被害を小さくするための施策・概念を防災といいますが、今回の特集号では、災害が起こった後の応急措置や復旧・復興を念頭に置き、防災については別の特集号に譲りました。

ここで、復旧と復興というよく似た用語が出てきましたが、災害復旧は公共的な施設の機能の復元を、災害復興は民間施設の再建を含め広く災害からの再興を指すといわれています。

なお、自然現象によらない被害(事故・テロ)からの復旧については災害復旧とは見なさないという考え方もあるため、今回の特集からは除外しています。

阪神大震災(1995年)以降の国内における自然災害を概観してみますと、台風18号(1999年)、三宅島噴火(2000年)、有珠山噴火(2000年)、新潟・福島豪雨(2004年)、福井豪雨(2004年)、愛媛県の大雨・洪水(2004年)、浅間山噴火(2004年)、台風18号(2004年)、台風23号(2004年)、新潟県中越地震(2004年)、福岡県西方沖地震(2005年)、豪雪(2005～2006年)、能登半島地震(2007年)、新潟県中越沖地震(2007年)、新燃岳噴火(2011年)、東日本大震災(2011年)、台風12号(2011年)、豪雪(2011～2012年)、関東北部竜巻(2012年)、九州北部豪雨(2012年)、豪雪(2012～2013年)、台風26号(2013年)、豪雪(2013～2014年)、広島豪雨(2014年)、御嶽山噴火(2014年)、etc.

台風は昨年(2014年)だけでも、8号、11号、12号、16号、18号、19号と大きな被害が出ています。豪雪や強風・竜巻による被害も毎年のように繰り返されています。

とても書き切れませんが、災害からの復旧・復興を、安全に、迅速に、安価に行うため、建設機械施工の果たすべき役割は、まだまだたくさん残っています。(赤井・伊藤)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
塚原 重美	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

### 編集委員長

田中 康順 鹿島道路(株)

### 編集委員

吉田 潔	国土交通省
三浦 弘喜	農林水産省
伊藤 健一	(独)鉄道・運輸機構
篠原 望	鹿島建設(株)
立石 洋二	大成建設(株)
藤内 隆	清水建設(株)
赤井 亮太	(株)大林組
久保 隆道	(株)中工務店
安川 良博	(株)熊谷組
川西 健之	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
岡田 英明	五洋建設(株)
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
相田 尚	(株)NIPPO
岡本 直樹	山崎建設(株)
太田 順子	コマツ
大塚 清伸	キャタピラー・ジャパン(株)
小倉 弘	日立建機(株)
上田 哲司	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
原 幹生	(株)KCM
江本 平	範多機械(株)
竹本 憲充	施工技術総合研究所

### 事務局

日本建設機械施工協会

### 4月号「建設業の海外展開、海外における建設施工特集」予告

- ・日本高速道路インターナショナル(株)における海外道路事業の展開
- ・JICAにおける海外インフラ展開
- ・株式会社国際協力銀行(JBIC)の海外インフラ事業展開支援
- ・ノンタブリ橋建設工事『タイ初のエクストラロード橋プロジェクト』
- ・トルコボスボラス海峡横断鉄道トンネルにおけるシールド施工
- ・岩盤泥水シールドの掘進と沈埋トンネルとの海底下直接接合
- ・貫通 東南アジア最長44.6km パハン・セランゴール導水トンネル
- ・台湾における地下鉄工事への取り組み
- ・ネパール国シンズリ道路建設事業  
(日本の山岳道路建設技術の粋を集めて完成した無償資金協力援助最大級の事業)
- ・ベトナムハノイ市における交通インフラ整備  
ハノイ市環状3号線建設プロジェクト一工期短縮への取り組み
- ・無支保工法で大幅な工期短縮 キリンバス ベシオ港拡張工事
- ・ベトナムハノイ市都市鉄道整備事業支援
- ・戦前の海外における機械化施工

## 建設機械施工

第67巻第3号(2015年3月号)(通巻781号)

Vol.67 No.3 March 2015

2015(平成27)年3月20日印刷

2015(平成27)年3月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖三

印刷所 日本印刷株式会社

## 発行所 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	〒980-0802 仙台市青葉区二丁目16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-10	電話 (052) 962-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-30	電話 (092) 436-3322

本誌上への広告は  有限会社 サンタナ アートワークス までお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: [san-mich@zam.att.ne.jp](mailto:san-mich@zam.att.ne.jp) 担当: 田中